

# 7 安全・安心

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント		
児童が安全で安心して学ぶことのできる環境が整備されている	前期	良好	良好	平元小学校は、以前グラウンドが崖崩れを起こしたことがある。今の状況に安心せず、災害の際の二次避難場所を確認するなど、想定外への備えをしてほしい。		
	年度	良好				
評価指標		主な取り組み			自己評価B	
⑭安全確保とリスクマネジメント体制の構築		校舎・校地の安全管理, 交通安全指導, 警察・地域生研との連携 地区巡視 緊急時の情報発信(平元小安心メール)			前期	年度
		学校安全計画, 災害時対応マニュアル・危機対応マニュアルの共通理解 避難訓練			4	4

学校の改善策	<p><b>【前期→年度】</b></p> <p>子どもたちは、大きな事件や事故に巻き込まれることなく過ごすことができている。交通安全教室や防犯教室を通じて、積極的に指導を行うことができているので、引き続き指導していきたい。今年度は「通学路安全事業」との関連で、地区巡視や通学路点検をいつも以上に丁寧に行っている。事業を活用し、さらなる安全確保に努めていく。</p> <p>不審者に関する情報についても、安心安全メールで随時流して注意喚起を行うことができた。保護者の登録率が96%なので、100%となるよう未登録者には今後も呼びかけていく。</p> <p>前期には、地震や火事を想定した避難訓練、不審者を想定した防犯教室を、警察署や消防署と連携して実施することができた。特に、防犯教室では教職員による不審者への対応について学ぶことができた。不審者は侵入させないことが第一ではあるが、万が一侵入を許してしまった場合は、今回学んだことを生かしていきたい。</p> <p>9月に保護者へ「緊急時の対応について」という文書を配付した。これを機会に、教職員の共通理解を図ることで、有事に備えていきたい。</p>
	<p><b>【年度→次年度】</b></p> <p>閉校・統合を1年後に控え、校舎のあちこちが傷んできているが、その都度補修して子どもたちが安全に学習できる環境づくりに努めることができた。また、「通学路安全推進事業」に関わって、「わたりジョーズ君」を使用した低学年への歩き方指導を行ったり、6年生が安全マップを作成し集団下校の際に危険個所の確認を全校で行ったりすることができた。しかし、児童アンケートの⑦について、数値が下がってしまったことは残念であった。6年生だけではなく、他の学年の子どもたちにもっと関わらせて、教師とともに現地を確認することを通して、自分たちが住んでいる地区の危険個所を認知できるようにしていきたい。</p> <p>3学期の避難訓練で、防火扉を閉めての避難を行った。事前学習の効果もあって、落ち着いて行動することができた。また、校長先生の話から、防火扉での事故の事例を知ることによって、子どもたちが学びを深めることができた。今後も、少しずつ内容を変えながら、いざという時に自分自身の身を守ることができるように指導していきたい。</p>

<b>【各種データ】</b>					
保護者アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑩	学校では、避難訓練や交通安全教室等、安全指導を適切に行っている。	3.6	97	3.8	100
⑫	校舎内外の施設設備は、子どもが安全に生活し、学習しやすい環境になっている。	3.4	86	3.4	90
児童アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑥	登下校や自転車乗りでは、交通ルールをよく守っていますか。	3.8	97	3.9	100
⑦	自分の住んでいる地区で、危険な場所はどこか分かりますか。	3.6	90	3.4	84
職員個人評価		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑭	校舎・校地の安全管理, 交通安全指導, 警察・地域生研との連携, 地区巡視, 緊急時の情報発信	3.3	100	3.7	100
	学校安全計画, 災害時対応マニュアル・危機対応マニュアルの共通理解, 避難訓練	3.2	100	3.7	100

自己評価A及び外部評価の評価区分
○きわめて良好
○良好
○おおむね良好
○やや不十分
○努力を要する

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／達成率80~90%、前年度比103~107%
3	実現状況は概ね良好／達成率60~79%、前年度比98~102%
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50~59%、前年度比93~97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下